

一般会計予算決算常任委員会
総務文教分科会記録

令和8年1月16日

【開催日】 令和8年1月16日（金）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時30分～午前10時48分

【出席委員】

分科会長	中岡英二	副分科会長	伊場勇
委員	大年恒夫	委員	北永千賀
委員	白井健一郎	委員	藤岡修美
委員	宮本政志		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	高松秀樹		
----	------	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川博三		
企画部長	和西禎行	企画部次長兼企画課長	河田圭司
財政課長	別府隆行	財政課主幹	林善行
財政課財政係長	久保弘明		

【事務局出席者】

事務局長	石田隆	議事係長	岡田靖仁
------	-----	------	------

【審査内容】

- 1 議案第1号 令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第10回）について

午前10時30分 開会

中岡英二分科会長 おはようございます。ただいまから、一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会を開会いたします。本日の審査日程については、お手元に配付しておりますとおり進めてまいります。まず、審査番号1番、議案第1号令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第10回）について、執行部の説明を求めます。

別府財政課長 それでは、議案第1号、令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第10回）における歳入のうち、一般財源部分について御説明します。補正予算書6、7ページをお開きください。11款1項1目1節の地方交付税の補正についてです。このたびの補正は、令和6年度の国税決算の確定等により、令和7年度の地方交付税の追加交付が決定されたことに伴うもので、3億8,407万3,000円を増額補正し、補正後の額を93億2,437万1,000円とするものです。なお、この内訳は、普通交付税が85億7,437万1,000円、特別交付税が7億5,000万円となっています。なお、このたびの追加交付額のうち6,457万8,000円については、令和8年度及び9年度の普通交付税において措置されるべき臨時財政対策債の元利償還金の一部が前倒しで交付されるものですので、この前倒しで交付される部分については減債基金に積み立て、令和8、9年度にこれを取り崩して、臨時財政対策債の償還財源として活用することとしております。また、後ほどの歳出補正の箇所で改めて説明します。続きまして、同じページの下段を御覧ください。19款1項1目1節の財政調整基金繰入金の補正については、このたびの補正における財源調整として行うもので、3億1,949万5,000円を減額し、補正後の額を17億1,080万7,000円とするものです。なお、このたびの補正により、財政調整基金の令和7年度末の予算上の残高は31億7,081万9,000円となります。一般財源に係る説明は以上です。続いて歳出に係る説明をしますので、補正予算書8、9ページをお開きください。2款1項8目財産管理費の補正について説明します。24節のうち減債基金積立金の増額補正については、先ほど説明した普通交付税の追加交付の趣旨を踏まえて、その一部を積み立てるものです。このたび追加交付された普通交付税のうち6,457万8,000円は、令和8年度及び9年度の普通交付税において臨時財政対策債の償還財源として措置される額の一部が前倒しで交付されるものです。具体的には、当該算定額の4分の3に相当する額が令和8年度の普通交付税から、4分の1に相当する額が令和9

年度の普通交付税からそれぞれ控除されることとされており、国からも、このたびの追加交付額については減債基金に積み立てるなどの適切な対応を求められているところです。なお、積み立てた額については、普通交付税に代わる財源として、令和8年度は4分の3相当額を、令和9年度には4分の1相当額をそれぞれ減債基金から一般会計に繰り入れることで、追加交付の目的に沿った適切な運用を図ることとしております。財政課所管分に係る説明は以上です。御審査のほどよろしく申し上げます。

中岡英二分科会長 執行部からの説明が終わりました。歳入と歳出を一括で質疑を求めます。

宮本政志委員 なかなか質疑がないということは、委員の皆さんは熟知しているということね。さっきの説明の中で、特別交付税の額が幾らと言われたけど、そこをもう一度ゆっくり説明してください。

別府財政課長 普通交付税の額は85億7,437万1,000円、特別交付税は7億5,000万円となっております。

宮本政志委員 11款1項1目地方交付税の補正額は、3億8,407万3,000円と、6ページの一ページに出ていますよね。これは一部を市が立て替えることが発生するよね。

別府財政課長 当初予算における予算編成でいいますと、歳入と歳出のバランスを取りますので、その後の補正予算で特定財源がない事業を行おうとする場合には、全て財政調整基金から繰り入れることとなります。立替えとはそのことをおっしゃっておられますか。

宮本政志委員 財政調整基金繰入金は、特定財源ではなくて一般財源だよ。一旦繰入れをしてマイナス3億1,900万円と出ているんだけど、そ

の仕組みを詳しく説明してください。

別府財政課長 当初予算を編成したときは歳入と歳出が等しくなりますが、その後、補正予算等で新しい事業を追加する場合は、特定財源がない限りは財政調整基金から繰り入れて事業費を組み立てることになります。このたびは普通交付税の追加交付が3億8,400万円入ってきたということで、何もないとすればこの額が普通交付税、一般財源になりますので、この分ほど今まで繰り入れてきた財政調整基金の繰入れが、このたび一般財源が追加で交付されたことによってマイナスの方向に働きます。このたびは3億8,000万円の中に色がついた6,400万円部分がありますので、それを差し引いた部分が財政調整基金のマイナスの繰入れとなります。

大年恒夫委員 難しくてよく分からなかったんですが、財政調整基金が増えたと考えてよろしいのでしょうか。繰入金が減ったということは、財政調整基金が増えたということですよ。

別府財政課長 お見込みのとおりです。

大年恒夫委員 もう一度財政調整基金の残高を教えてください。

別府財政課長 31億7,081万9,000円です。

宮本政志委員 財産管理費とは何ですか。

別府財政課長 いろいろな積立金を全てまとめてこの費目で管理しております。昔あった山口東京理科大学から戻していただくお金とか利子による積立金とかを財産管理費に計上しております。

宮本政志委員 財政管理費とは、そもそも何のためのものですか。

別府財政課長 財産管理費は、財政課で所管している歳出のうち、土地の管理費用とか、基金利息の積立てを管理するとか、そういう用途の費目です。

宮本政志委員 財政調整基金は31億円と言っていたよね。31億円という金額は本市の財政から見て大丈夫なほうなのか。

別府財政課長 正確な数字は持ち合わせておりませんが、190億円から200億円が標準財政規模になっております。

宮本政志委員 31億円に対して標準規模が約200億円でしょう。大体10%くらいでいいと言われているから、本市の財政調整基金の額は危険水域に入っていないということですか。

別府財政課長 財政調整基金の保有額については、標準財政規模の5%とか10%とかという水準も確かにあるんですが、何パーセントが危険水域という明確な設定はありません。予算を編成する上で多いほうが安心という意見もありますが、その年度で頂く税収とか交付金とかはその年度の行政サービスに使うのが基本になろうかと思えます。31億円という金額が危険水域にあるとは考えておりません。

伊場勇副分科会長 前倒して頂くお金を減債基金積立金に送るということですが、これは何か使い道が決まっているものなのか。その理由をおっしゃったかもしれませんが、聞き漏れたのでその辺を教えてください。

別府財政課長 使い道が決まっているかというお尋ねですか。（「はい」と呼ぶ者あり）国から、この金額については臨時財政対策債の前倒しと明確に示されておりまして、本来でしたら令和8年度、9年度の交付税で頂けるものを、もうその分は控除する扱いになっておりますので、それに備えてきちんと減債基金に積み立てるものです。

伊場勇副分科会長 減債基金積立金については、条例において「最も確実かつ有利な方法で運用する」と規定されていますけど、本市はどのように管理、運用されているんでしょうか。

別府財政課長 基本的には定期預金とか普通預金とかで運用しております。流動性を強く求められない基金については、国債とか地方債とかで運用しているものもありますが、減債基金については流動性を重視して普通預金、定期預金で運用しています。

藤岡修美委員 財政調整基金が少なくなると、市の財政が危ないんじゃないかという感覚があるんですけど、例えば財政調整基金がゼロ円になるときには危機感を持つべきという考えですか。

別府財政課長 おっしゃるとおりです。先ほどから何度か申し上げているとおり、当初予算は歳出と歳入のバランスを取っています。もし財政調整基金がゼロ円になると、その後に補正するときには100%特定財源か、歳入の増額補正がなければ組めなくなりますので、それはあってはならない状態だと考えております。

中岡英二分科会長 ほかに質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、以上で質疑を終わります。これで分科会を終わります。お疲れさまでした。

午前10時48分 散会

令和8年（2026年）1月16日

一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会長 中 岡 英 二